

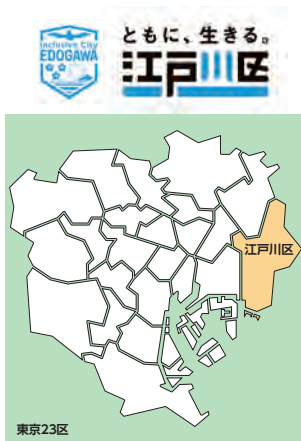
# 森林環境譲与税を活用した取組

## 地球を潤す森林環境保全へのプロセス

Vol. 8

### 東京都江戸川区

# 小中学校の木質化による木に親しむ機会の創出



## 1 江戸川区の概要

江戸川区は、東京都の東部に位置し、人口約69万人、面積は4,909haの自治体です。

区域内に森林はありませんが、本区では、昭和45年より「ゆたかな心地にみどり」を合言葉に区内の緑化運動を進め、令和3年には区民一人あたりの樹木数が10本を超え690万本となりました。さらに公園面積も特別区の中でトップの366haであり、区内で最も緑化が進んでいる区のひとつです。

## 2 森林環境譲与税を活用した取組

### (1) 活用方針

本区では、老朽化が進んでいる区立小中学校の改築を順次実施しています。その中で、令和2年に策定した「江戸川区公共建築物等における木材利用推進方針」等に基づき、改築校の内装の木質化を積極的に進めています。木質化にあたっては国産材を優先的に使用し、特に友好都市、交流都市及び東京都産材の利用に努めています。これまでに、山形県鶴岡市産材、長野県安曇野市産材、茨城県城里町産材、「東京の木」である多摩産材の利用実績があり、これらの地域の森林整備の促進にも寄与しています。なお、事業の推進にあたっては森林環境譲与税（令和3年度譲与額：56,172千円）を活用しています。

### (2) 活用事例

本区において、これまでに森林環境譲与税を活用して整備した小中学校4校について紹介します。

### 改築校の概要

学校名	瑞江第三中学校	小岩小学校	小岩第二中学校	小松川中学校
学校名	瑞江第三中学校	小岩小学校	小岩第二中学校	小松川中学校
校舎竣工	令和3年3月	令和4年3月	令和4年3月	令和4年8月
敷地面積	12,328㎡	9,956㎡	12,618㎡	12,364㎡
延床面積	9,345㎡	8,586㎡	9,473㎡	11,137㎡
木材使用量	154㎡	83㎡	77㎡	135㎡
(うち国産材)	81㎡	67㎡	23㎡	10㎡



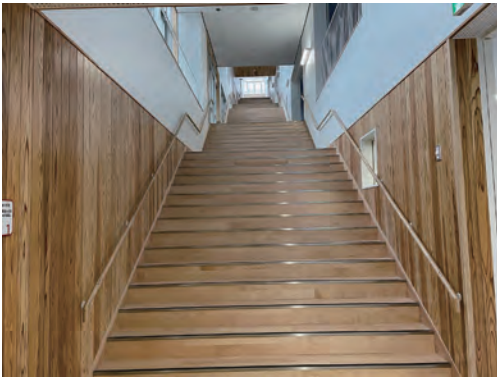
瑞江三中・学校図書館

① 瑞江第三中学校  
 (令和2年度事業、森林環境譲与税充当額：55,290千円)  
 瑞江第三中学校では、木材をふんだんに使って、学校図書館の内装を木質化しました。天井には多摩産材、壁には鶴岡市産材、オープンスペースの一部には安曇野市産材を使用するなど、様々な地域産材の調達を行いました。その他、昇降口の天井材等に国産材を使用しました。  
 木材を使用した空間は明るく温かみがあり、学校図書館の部屋全体に木材を使用することで、自然と生徒たちが学校図書館に集まり、読書の興味が醸成されています。

## ②小岩小学校

(令和3年度事業、森林環境譲与  
税充当額：29,172千円)

小岩小学校では、児童が木の温もりを感じながら学校生活を送れるよう、鶴岡市産材を使用して、校舎の顔となる大階段「こいわステップ」を整備しました。また、学校図書館では、壁や天井だけでなく、書架にも国産材を使い、児童がリラックスして読書ができる空間をつくりました。その他、昇降口の天井材やオープンスペース等に国産材を使用しました。



小岩小・大階段(こいわステップ)

## ③小岩第二中学校

(令和3年度事業、森林環境譲与  
税充当額：12,000千円)

小岩第二中学校では、生徒が木に包まれた環境で学ぶことができるよう、多摩産材を使用して、校舎中心にある多目的スペースを整備しました。また、学校図書館や近くの学習スペースには、国産材のほか、改築時に伐根した既存樹を加工して家具の一部として利用するなど、SDGsへの取組を行っています。その他、昇降口の壁材等々に国産材を使用しました。



小岩二中・オープンスペース

## ④小松川中学校

(令和3年度事業、森林環境譲与  
税充当額：15,000千円)

小松川中学校では、多摩産材を使用して生徒が集中して勉強できる個別学習スペースを整備しました。また、各オープンスペースにも多摩産材を使用し、落ち着いた生活空間をつくりました。その他、昇降口、学校図書館等に国産材を使用しました。

木質化された個別学習スペースでは、木材のリラックス効果により集中力が高まり、教育環境の向上が期待されます。



小松川中・個別学習スペース



小松川中・オープンスペース



小松川中・学校図書館

## (3)課題

今後、国産材の活用をさらに進める上での課題としては、ウッドショックによる木材価格の上昇や、それに伴う国産材の需要増により、地域産材の確保が困難な場合があるという点が挙げられます。このため、緻密な積算や適切な工事スケジュールの作成により、工事に使用する木材を事前に確保する、場合によっては積算や工事スケジュールに柔軟性を持たせるなどの対策を検討しています。



## 3 最後に

本区では、今後も、学校改築を進めていく中で、森林環境譲与税を活用して、内装の木質化を推進していく方針ですがこのような木材利用の取組を通じて、地球温暖化の防止や低炭素社会の実現、循環型社会の形成に貢献できればと思っています。

本事業が進められるのは、全国の林業従事者をはじめ、森林環境の保全に携わる関係各位のご尽力あつたことであり、この場を借りて感謝をお伝えするとともに、本事業へ更なるご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。